

## 院生の広場

### 院生紹介

野口 恭平（橋梁工学分野・博士課程2年）



橋梁工学分野（白土研）では風に起因する諸問題、例えば橋梁の空力振動や横風による車両の横転などの現象を対象としています。その中で私は大気中に飛び出した海塩粒子の輸送と、橋梁への付着について研究しています。海塩粒子の輸送や付着には風が密接に関わっています。橋梁の効率的な維持管理のために、橋梁部材への付着塩分量を風の流れをもとに精度よく推定することが本研究の目的です。実

験や数値計算だけではなく、時にはフィールドワークも行い、海塩粒子に関する問題について多角的に検討を行ってきました。

2015年6月にはブラジルのポルトアレグレで開催されたThe 14th International Conference on Wind Engineering (ICWE14) にて研究発表を行いました。私にとって3回目の国際会議での発表でした。相変わらずひどく緊張しましたが、たどたどしくも何とか発表と質疑応答を終えることができました。遠距離であることに加え飛行機の遅延も生じたため、2日以上を要しての現地入りとなり、やや疲労を覚えつつの参加でした。しかし、自分の研究について議論ができ、同時に多くの方と交流できたことを思えば、地球の反対側まで行ってきた甲斐は十分にあったと感じています。